



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



大切な命を守るために「交通安全」の強い意識を！



学校再開から間もなく2か月になろうとしています。新しい学校生活様式に沿って「新型コロナウイルス感染症防止対策」に取り組んできましたが、「命を守る」という目的からすると、大雨等による土砂災害対策や熱中症対策、交通事故防止など、どれも見落としてはいけない大切なことです。



その中でも、交通事故防止については、普段の生活の中でしっかりと意識しながら行動することが欠かせません。八幡小の校区の中には、交通量の非常に多い幹線道路もあれば、見通しが悪く狭い坂道なども多数あります。登下校を含め、日常生活の中に「危険の芽」が多数潜んでいることを忘れてはいけません。歩道で待っていたのに交通事故の巻き添えになったという悲惨な事故も、記憶に新しいところです。そこで、今年も八幡東警察署交通課のおまわりさんを講師としてお招きし、1年生を対象とした「交通安全教室」を開催しました。

また、本校では、保護者や地域の見守りボランティア「オレンジャー」の皆様が精力的に活動し、子どもたちの登下校の安全をサポートしてくださっています。こうした活動が評価され、「令和2年度学童交通安全運動実践優秀校」（福岡県内24校）として表彰されました。

しかし、登下校の様子を見てみると、通学路を通らなかつたり、道路横断中にふざけたりなど、まだまだ心配な状況の子どもたちが何人か見られます。車からの見通しが悪い雨の日などは、とくに注意が必要です。さまざまな場面で「自分の命は自分で守る」という意識をもち続けるように指導を重ねていきます。ご家庭でもどうぞよろしくお願いいたします。



なお、先日プリントでお願いした「校内への車の乗り入れ」「よしぼう橋付近での長時間駐車」をお控えたべく件も、重ねてお願いします。よしぼう橋周辺から車線が減少するので駐車車両があるのは危険だ、という苦情がたびたび学校に寄せられています。

気持ちをゆるめずに「With コロナ」

まずは「朝の健康チェック」を確実にすることから…



現在、給食のおかずは一品です。1年生には飛沫混入防止のためのプラスチックの蓋がつけられ、他の学年も皿で蓋をしています。また、やっと始まった発育測定は密を防ぐために会場を分け、保健室には測定する児童だけが入るようにしています。このように、これまでとは異なるスタイルで学校生活が送られています。現状では、よく報道で言われる「With コロナ」の生活を、工夫しながら送ることが大切だと考えます。



その中でも「朝の健康チェック」は、マスク着用などと同様に、確実に定着しなければならないことのひとつ

だと考えます。しかし、定着したはずのこの数週間は、残念なことにチェック漏れ・印漏れをはじめ、表そのものを忘れる子どもたちが多数います。とくに休み明けが目立ちます。「油断はコロナの大好物」です。



先日のように、災害発生が懸念される時には臨時休校の可能性が
あります。その際は、これまで通り、当日の朝の時の時半までに
は「いっせいくん」やホームページでお知らせします。メールアドレス
リスが変わったら、すぐに登録の変更手続きをお願いいたします。

臨時休校等の際の連絡は・・・